令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）

岸和田市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課

岸和田市について

人　　口 ： 186,643 人

＜令和6年12月1日現在＞

公立中学校数 ： 11 校

中学校生徒数 ： 4,361 人

運動部活動数 ： 137 部活

生　徒　数 ： 2,448 人

加 入 割 合 ： 56.1 %

文化部活動数 ： 34 部活

生　徒　数 ： 644 人

加 入 割 合 ： 14.8 %

＜令和6年7月1日現在＞



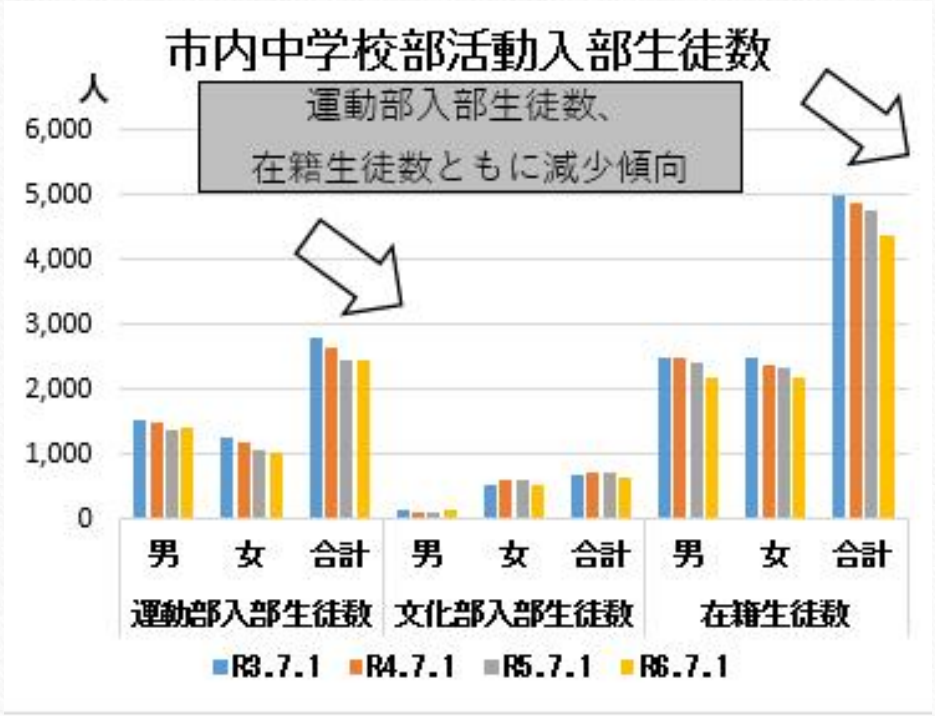
①事業実施にあたって

本事業を希望した背景（きっかけ）

Ⅰ少子化が一層進む中、「学校単位」での活動、「教員が指導する」を前提とした、「運動部活動」という生徒にスポーツ活動の機会を提供する仕組みは、持続が困難な状況

Ⅱ学校単位で教員が指導する運動部活動に代わって、地域でスポーツの機会を将来にわたり確保できるよう、生徒が地域でスポーツに親しめる環境づくりが必要

Ⅲ「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という考えの下、生徒が望ましい成長をできるように、地域で持続可能な一体的な環境を整備することで、地域に応じたスポーツ活動の最適化を図り、子どもたちの体験格差の解消をめざす

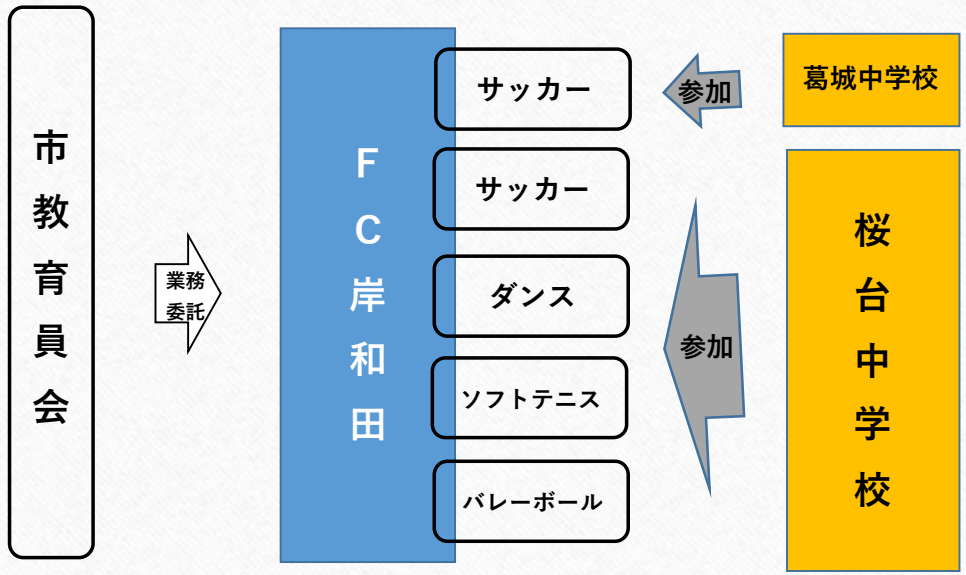


	運動部入部生徒数			文化部入部生徒数			在籍生徒数		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
R3.7.1	1,512	1,272	2,784	126	537	663	2,501	2,485	4,986
R4.7.1	1,472	1,166	2,638	103	603	706	2,498	2,382	4,880
R5.7.1	1,370	1,066	2,436	113	607	720	2,428	2,336	4,764
R6.7.1	1,414	1,034	2,448	129	515	644	2,198	2,163	4,361

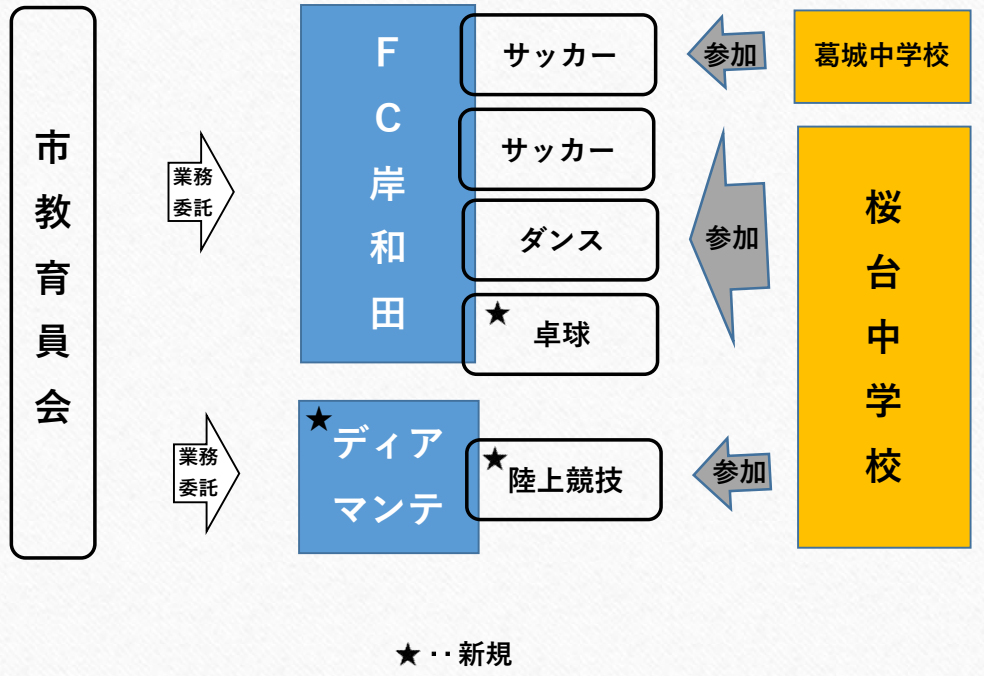
令和3～6年度部活動実態調査（学校教育課）

①事業実施にあたって

令和5年度の体制



令和6年度の体制



★・・新規

①事業実施にあたって

実施校及び対象部の選定方法

・令和6年度の実施校及び対象部については、前年度に実証事業を実施した桜台中学校、葛城中学校の校長等とヒアリングを実施し、前年度に生じた連絡調整の課題を解消するため、引き続き、両校において実証事業を実施することとした。

・対象部については、前年度実証事業を行い、継続要望のあったサッカー、ダンスに加えて、競技経験者でない顧問が担当している陸上、卓球の2種目を新たに追加した。

・また、委託先についても、前年度はFC岸和田のみであったが、今年度はディアマンテにも新規に委託を行った。

・指導者研修会実施

令和6年8月30日19:10～20:30
岸和田市役所別館4階会議室
参加者4名（市広報紙で募集した指導者）

【研修内容】
・地域移行の事業趣旨について
・中学校の部活動について
・パワハラ防止について

【自己研鑽資料配布（動画など）】
・応急手当WEB講習（動画）
・スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）
・なくそう運動部活動の事故
・特定個人情報の適正な取扱いのための各種研修資料
・特定個人情報を取り扱う際の注意ポイント

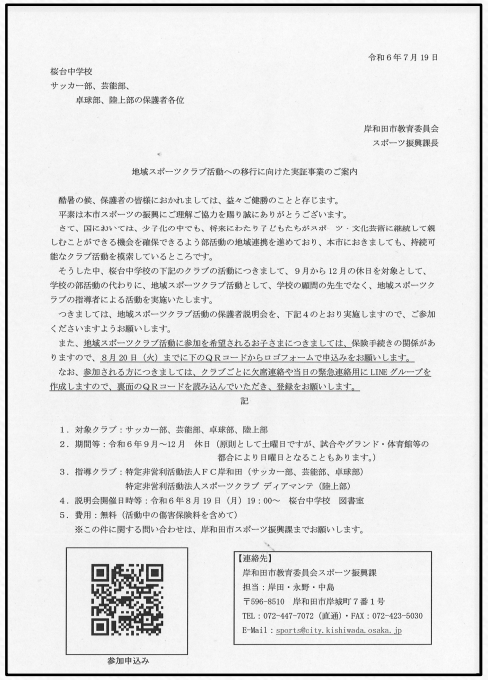
①事業実施にあたって

・保護者説明会開催

令和6年8月19日19:00～19:40
桜台中学校図書室
サッカー、芸能（ダンス）、卓球、陸上
参加者数：14名

保護者からの質問内容
・学校以外の場所への交通手段は？
・体験入部はできるのか？

【改善点】
前年度は地域スポーツクラブ活動への参加申込書を学校の顧問経由での提出のため、回収作業等で学校に負担がかかっていたが、今年度は保護者会の開催案内に参加申込用のQRコードを添付して学校の負担軽減を図った。



令和６年７月19日

桜台中学校
サッカー部、芸能部、
卓球部、陸上部の保護者各位

岸和田市教育委員会
スポーツ振興課長

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業のご案内

酷暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととと存じます。
平素は本市スポーツの振興にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、国においては、少子化の中でも、将来にわたり子どもたちがスポ　ツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保できるよう部活動の地域連携を進めており、本市におきましても、持続可能なクラブ活動を模索しているところです。
そうした中、桜台中学校の下記のクラブの活動につきまして、９月から12月の休日を対象として、学校の部活動の代わりに、地域スポーツクラブ活動として、学校の顧問の先生でなく、地域スポーツクラブの指導者による活動を実施いたします。
つきましては、地域スポーツクラブ活動の保護者説明会を、下記４のとおり実施しますので、ご参加くださいますようお願いします。
また、地域スポーツクラブ活動に参加を希望されるお子さまにつきましては、保険手続きの関係がありますので、８月20日（火）までに下のＱＲコードからﾛｺﾞﾌｫｰﾑで申込みをお願いします。
なお、参加される方につきましては、クラブごとに欠席連絡や当日の緊急連絡用にLINEグループを作成しますので、裏面のＱＲコードを読み込んでいただき、登録をお願いします。

記

１．対象クラブ：サッカー部、芸能部、卓球部、陸上部
２．期間等：令和６年９月～12月　休日（原則として土曜日ですが、試合やグランド・体育館等の都合により日曜日となることもあります。）
３．指導クラブ：特定非営利活動法人ＦＣ岸和田（サッカー部、芸能部、卓球部）
特定非営利活動法人スポーツクラブ ディアマンテ（陸上部）
４．説明会開催日時等：令和６年８月19日（月）19：00～　桜台中学校　図書室
５．費用：無料（活動中の傷害保険料を含めて）
※この件に関する問い合わせは、岸和田市スポーツ振興課までお願いします。

参加申込み

【連絡先】
岸和田市教育委員会スポーツ振興課
担当：岸田・永野・中島
〒596-8510　岸和田市岸城町７番１号
TEL：072-447-7072（直通）・FAX：072-423-5030
E-Mail：sports@city.kishiwada.osaka.jp



サッカー・芸能・卓球

◎指導クラブ
特定非営利活動法人ＦＣ岸和田
【所 在 地】〒　596-0034
大阪府岸和田市春木本町２-13
（最寄駅：南海本線春木駅から約802m）
TEL：072-457-9035　　FAX：072-457-9035
【代 表 者】　理事長：河内　賢一
【設　　立】　2002年（NPO法人格取得：2003年３月12日）
【目　　的】　地域社会に暮らす青少年をはじめとするすべての住民が、スポーツを通して健康で、明るく、連帯性や助け合いの精神を持った日々を送り、かつ地域社会に貢献できる各種スポーツイベント、スポーツ教室の開催を企画提供し、また学校での部活動の衰退をカバーすべく各種スポーツ指導に関する事業を行うことにより、もって地域社会における青少年をはじめとするすべての住民の健全な人格育成や生涯スポーツの発展に寄与することを目的とする。
【主な活動種目】　サッカー、フットサル、ダンス、Hula、ヨガ、太極拳、テニス
バクテン、ラグビー、グランドゴルフ、アドヴェンチャー

［サッカー部］
連絡用 LINE

［芸能部（ダンス）］
連絡用 LINE

［卓球部］
連絡用 LINE

②状況＜継続種目＞

桜台中・ダンス（FC岸和田）

【活動内容】
　12月の合唱部・ブラスバンド部とコラボした校内発表会を目指してレッスンを実施した。



桜台中・サッカー（FC岸和田）

【活動内容】
　活動期間中にトレーニングだけではなく、公式戦や練習試合を通じての指導も実施した。



葛城中・サッカー（FC岸和田）

【活動内容】
　活動期間中にトレーニングだけではなく、公式戦や練習試合を通じての指導も実施した。



②状況＜新規種目＞

桜台中・卓球（FC岸和田）

【活動内容】

活動期間中にトレーニングだけでなく、練習試合を通じての指導を実施した。桜台中学校は体育館を利用している部活動が多く、固定した時間枠の確保ができず、顧問と指導者の間において日程の連絡調整に苦慮した。

【保護者の声（アンケート）】

学校の部活動の活動目的は多岐にわたりますが、技術的な向上が難しい中での活動というのは、生徒の意欲やモチベーションの低下に繋がるかとも思います。

今回は期間限定での体験でしたが、普段の部活動の雰囲気とは違って緊張感もあり、細かな技術指導もしていただき、充実した時間であったようです。



②状況＜新規種目＞

桜台中・陸上（ディアマンテ）

【活動内容】
　桜台中学校グラウンド及び岸和田市立まなび中央公園でのトレーニングを基本とし、より高度なトレーニングメニューを希望する生徒を対象に堺上高校陸上部との合同トレーニングも実施した。

【生徒の声（アンケート）】
　楽しくしっかり練習できてよかったです。ありがとうございました。

【保護者の声（アンケート）】
　今回も、友達と電車乗ったり、高校生と一緒に練習できたり、知らない人の中に入っていく気持ちを体験したり、筋肉痛を味わったり、色々な体験をさせてもらえて、参加させてもらって良かったです。色んな高校の名前を知ったり、興味持ったり、きっかけにもなりました。



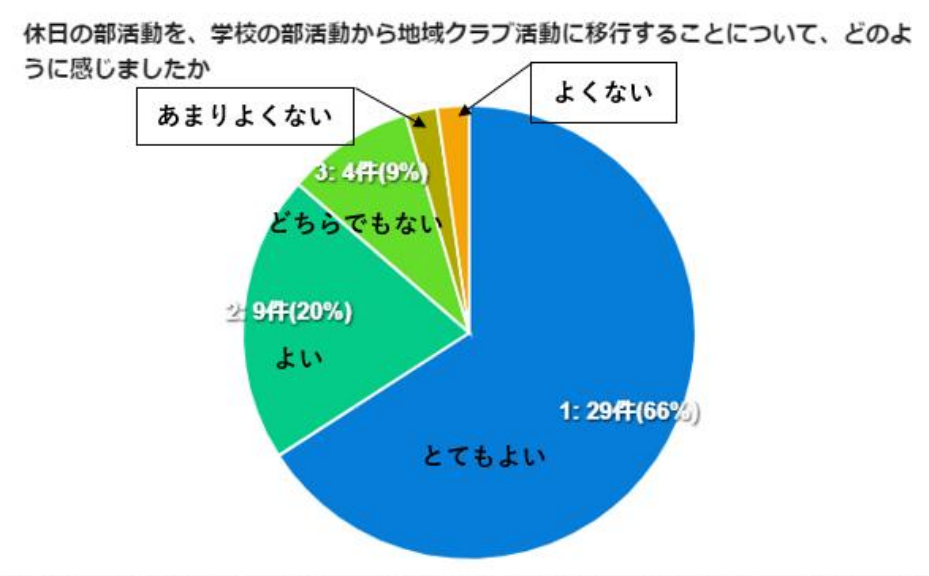


③今後に向けて

1.生徒アンケート

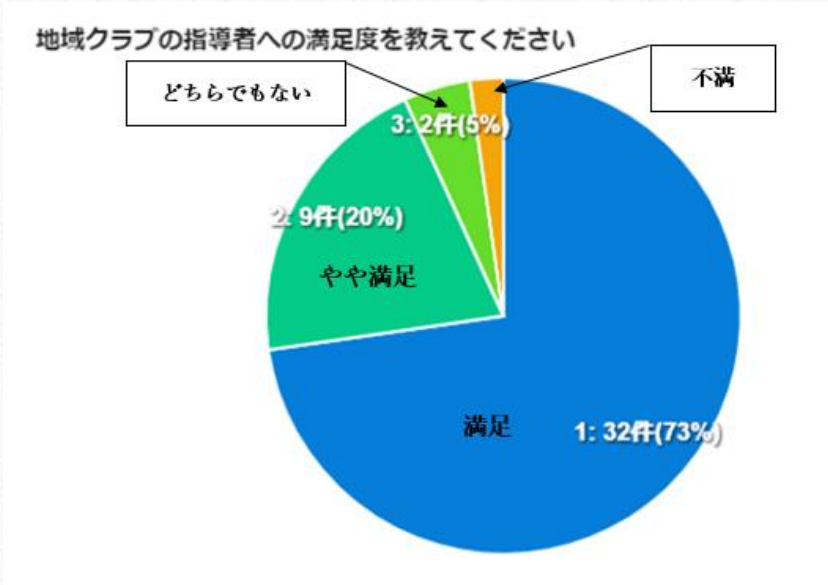
・休日の地域移行について

休日の部活動を、学校の部活動から地域クラブ活動に移行することについて、どのように感じたかを生徒に質問したところ、「とてもよい」が66%、「よい」が20%と合わせて86%の生徒が地域クラブ活動への移行に肯定的である。



・地域クラブ指導者について

地域クラブの指導者に対する満足度を生徒に質問したところ、73%の生徒が「満足」、「やや満足」20%と合わせて93%の生徒が満足している。

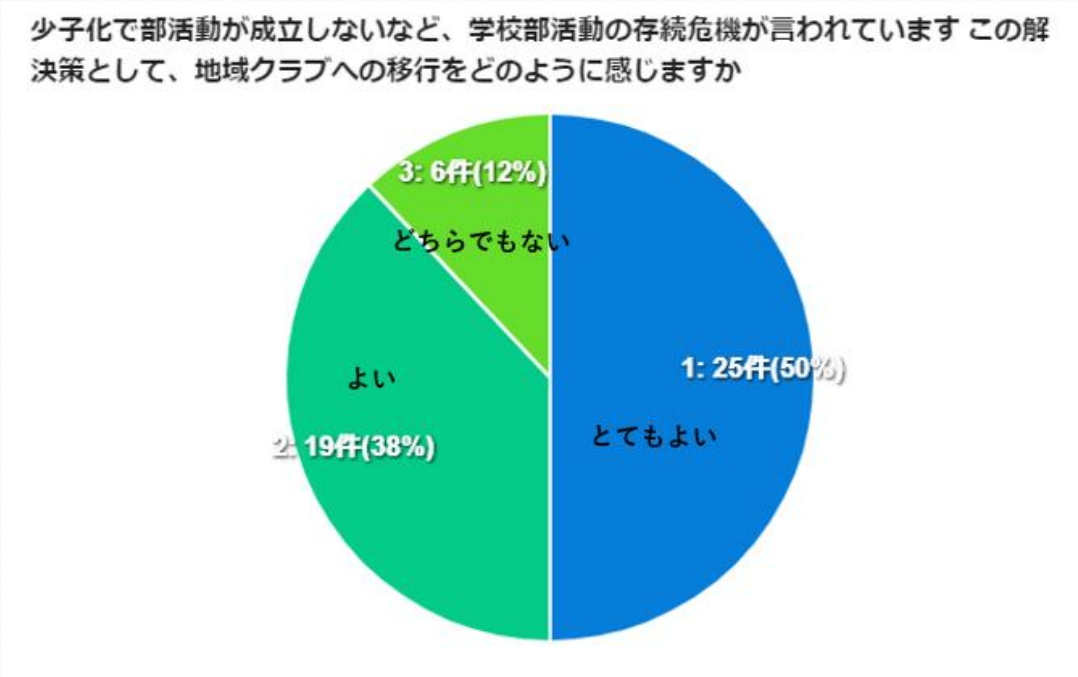


③今後に向けて

2.保護者アンケート

・地域移行について

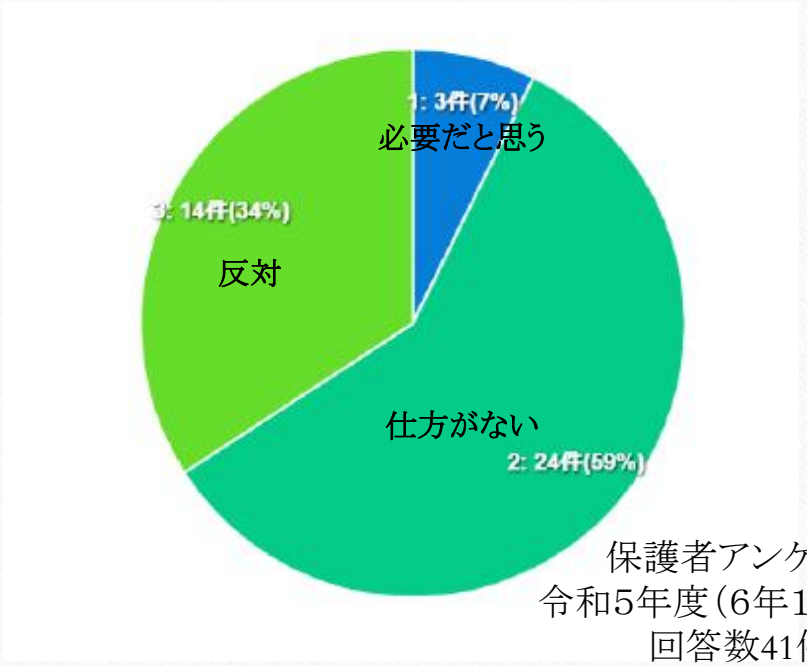
「少子化で生徒数の減少の影響で部員不足により部活動が成立しないなど、学校部活動の存続危機が言われています。この解決策としての地域移行についてどのように感じるか」と質問したところ、「とてもよい」が50％で、「よい」が38％と、大半の保護者が「地域移行」について肯定的に捉えている。



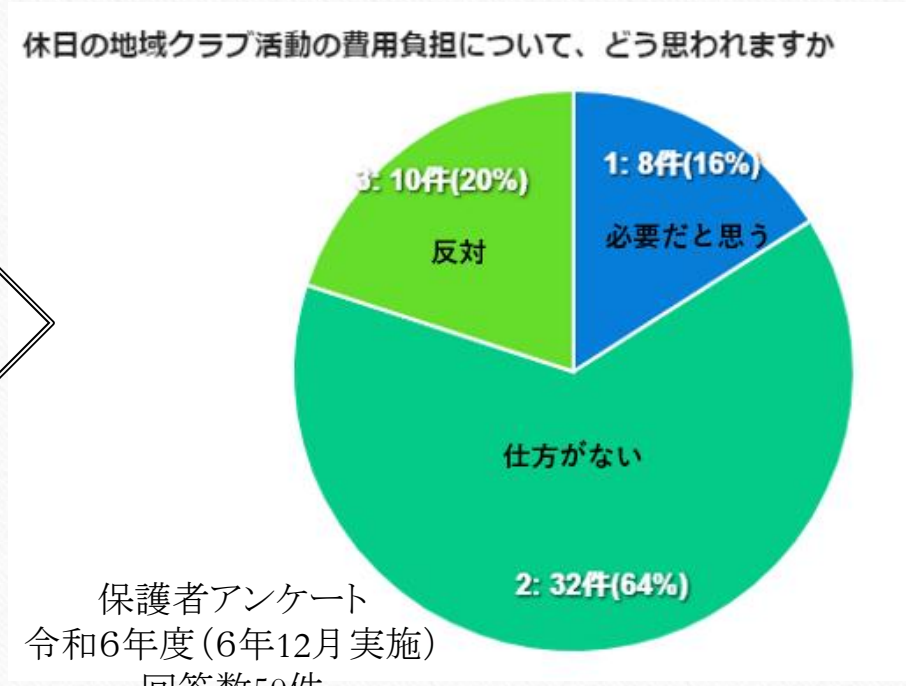
③今後に向けて

2.保護者アンケート
費用負担について

保護者アンケートで、休日の地域クラブ活動の費用負担について、5年度と6年度を比較すると、「必要だと思う」が7%から16%、「仕方がない」が59%から64%へ上昇しており、「反対」が34%から20%へ減少している。



保護者アンケート
令和5年度（6年1月実施）
回答数41件



保護者アンケート
令和6年度（6年12月実施）
回答数50件

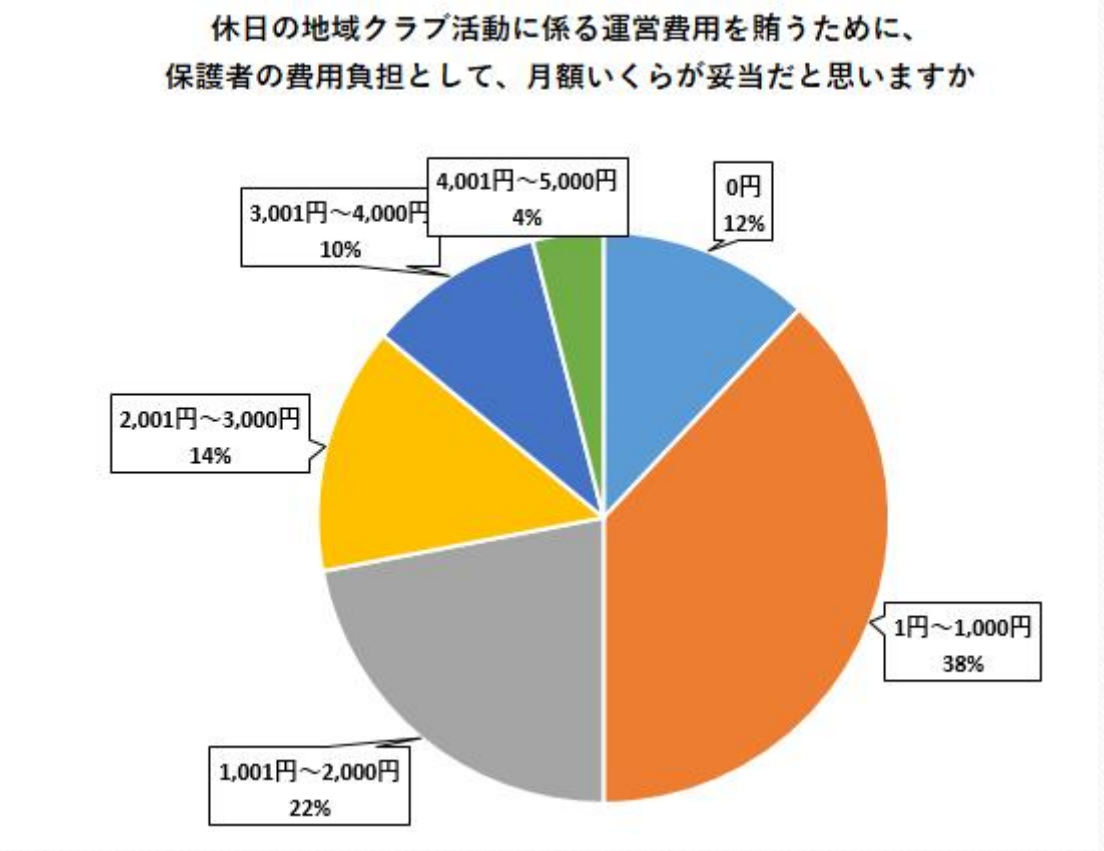
③今後に向けて

2.保護者アンケート
費用負担の金額について

休日の地域クラブに係る運営費用を賄うために保護者の費用負担について月額いくらが妥当かを質問したところ、「0円」が12%、「1円～1,000円」が38%と、半数の保護者が1,000円以下が妥当だとする回答であった。

アンケートの結果に基づき、加重平均で算出しても、月額1,400円と低額なものであった。

選択肢	中間値	回答数		加重平均
0 円	0	6	0	
1～1000 円	500	19	9500	
1001～2000 円	1500	11	16500	
2001～3000 円	2500	7	17500	
3001～4000 円	3500	5	17500	
4001～5000 円	4500	2	9000	
		50	70000	1400 円



③今後に向けて

財源の検証

前述の保護者アンケートでは、「休日の地域移行に係る保護者の費用負担の妥当な額に関する質問」において回答のあった金額の加重平均が**月額1,400円**であった。

一方で、実証事業の実施に要する経費及び参加生徒数を勘案すると、生徒一人あたり**約3,200円/月（右記参照）**の事業費が必要であった。

保護者アンケートの結果（回答のあった金額の加重平均）を前提として、受益者負担の金額を設定した場合、**生徒一人あたり約1,800円/月の事業費が不足**することとなり、受益者以外からの財源確保が必要となる。

地域移行を推進し、複数校を対象とした合同クラブの実施によって参加生徒数を増やす等の取組により、事業費不足分のうち一定額は補填できると考えるが、本市のみならず全国的に安定的に地域展開を進めていくためには、国において必要な予算を措置し、地方公共団体への財政支援、保護者や地域部活動の事業主体への財政支援を図ることが不可欠と考えます。

参考（生徒一人あたりに必要な事業費（月額））

■地域クラブ活動に必要な費用（月額）

①指導者謝金
62,400円（3人×3時間×2,600円（謝金単価）×月4回）
②地域クラブコーディネーター謝金
約12,100円（1人×4時間×2.5日/週×4週×1,210円（謝金単価）÷4部活動）
④指導者等旅費
7,200円　（3人×月4回×600円（1回あたりの旅費））
④保険料（生徒）
2,000円（30人×800円（年間）÷12カ月）
⑤保険料（指導者）
約500円（3人×1,850円（年間）÷ 12カ月）
⑥消耗品
約3,100円
⑦消費税相当額
250円（上記④⑤の合計額×10%）
⑧一般管理費
約8,800円（約87,550円×10%【総事業費×10%】）

上記①～⑧合計額　約96,400円

■参加生徒数　30人

約96,400円÷30人＝約3,200円/人・月

注）上記試算は、令和6年度実証事業において最も参加人数の多い桜台中学校卓球部を対象とした実証事業の実施に要する経費（見込み額）及び生徒数をもとに試算

③今後に向けて

3.生徒・保護者アンケート（共通設問）

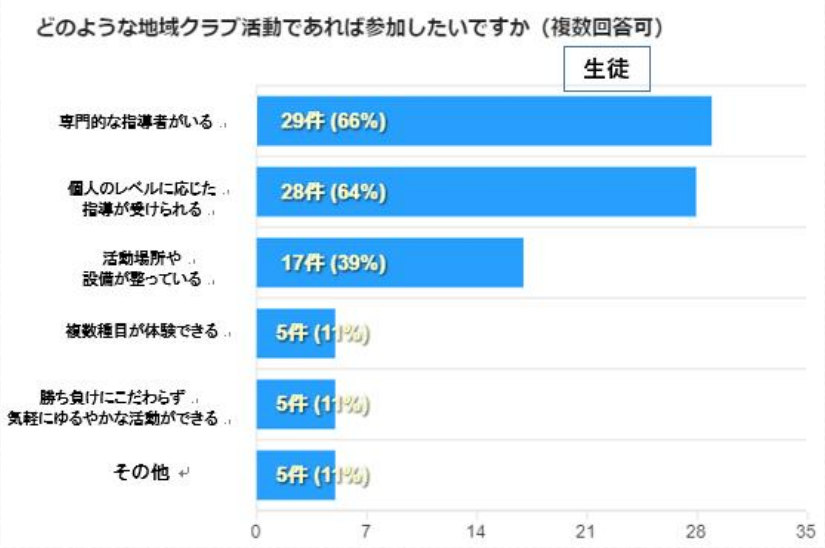
・地域クラブについて

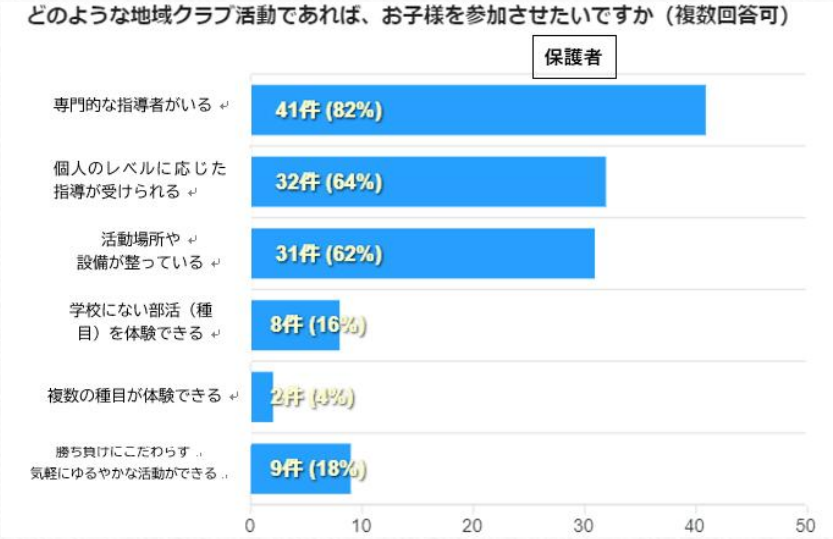
・生徒及び保護者に対して、「どのような地域クラブであれば参加したいか（参加させたいか）」を質問したところ、生徒・保護者ともに「専門的な指導を受けたい」「個人のレベルに応じた指導を受けたい」「活動場所や設備が整っている」の技能向上に関する回答が多かった。

　また、「学校にない部活（種目）」を選択した人に、具体的な種目を質問したところ、様々な種目の回答があった。

【生徒】ハンドボール、基礎練習、創作ダンス、短距離走

【保護者】硬式テニス、卓球、バトミントン、陸上、水泳、フットサル、ボクシング



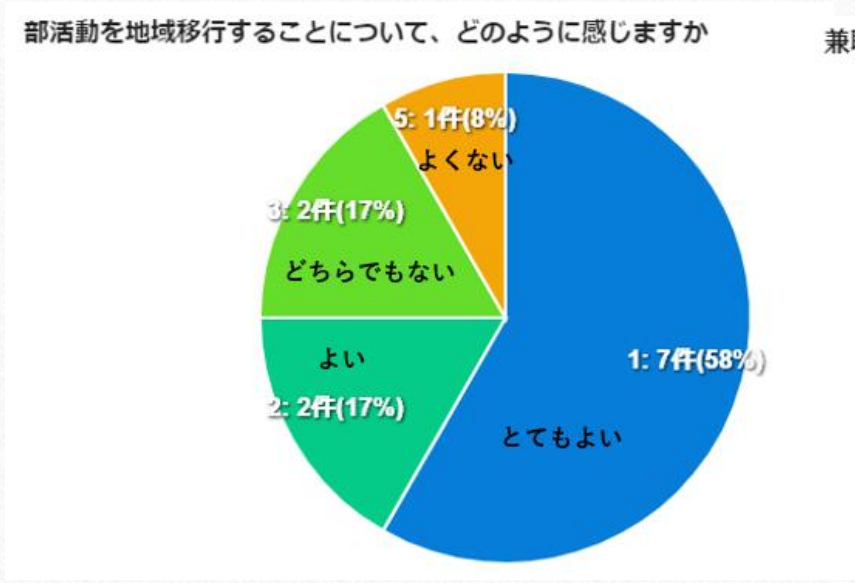


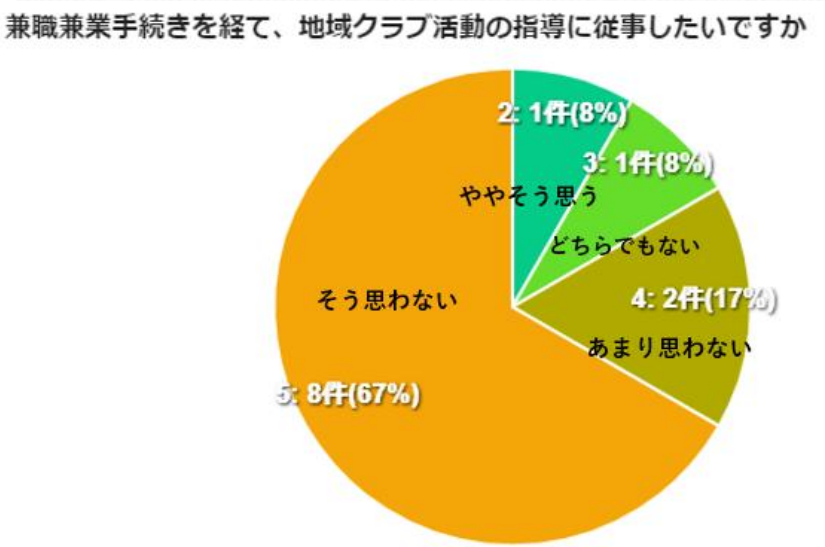
③今後に向けて

4.教員アンケート

今回の実証事業を実施した部活の顧問（教員）にアンケートを実施したところ、「とてもよい」「よい」を合わせて75％と、地域移行に肯定的であった。また、兼職兼業をして指導に従事したいと思わない教員が67％であった。

自由意見でも、平日も含めた完全移行を期待している意見があり、顧問（教員）にとって部活動の指導が負担になっていることがうかがえた。





アンケートの自由意見

・平日も見てもらうなら、学校の部活動ではなく地域のクラブチームとして切り離して活動した方がいいと思います。

・神戸市同様、積極的に移行を進めていただきたい。

③今後に向けて

令和6年度の主な取組

・実証事業の実施
　中学校2校で5部活を対象として実施した。
・実証事業アンケートの実施
　実証事業に参加した生徒・保護者・指導者・教員にアンケートを実施した。
・中学校アンケートの実施
　令和7年度の実証事業の取組等の参考にするためにアンケートを実施した。
・岸和田市スポーツ協会での研修会
　実証事業を中心に、地域移行の現状について説明をした。

令和7年度以降の方向性

●複数校による合同地域クラブによる実証事業をめざす

●関係者による協議会において、地域移行の本格実施に向けた検討を深める

【移行に向けた課題】
・生徒・保護者の理解促進
・学校関係者との協議・調整
・指導者の量的・質的確保
・安定的な財源の確保
・文化部地域移行との一体的な取組